

【機械駐車設備／導入事例】
京都の西の入口のランドマークとなる

パインフィールド吉祥院

ビジネス感覚と住居としての アメニティー性を両立

古都・京都の西の入口にあたる西大路九条の交差点に、この夏にオープンしたパインフィールド吉祥院は建っています。J.R東海道本線の西大路駅から歩いて5分という好立地にあり、1、2階が株式会社日栄の京都支店が入るオフィス部分、3階から10階までが賃貸のファミリータイプのマンションが56戸という共同住宅と事務所の複合建築物となっています。しかし、交通量の多い交差点に面し、敷地も三角形が2つ合わさったような形をした土地であり、ちょうど2階部分にあたる空間の前には横断歩道橋が存在するという、設計上は、かなり難しい条件の場所であったそうです。

さらに、この交差点を東に進むと、歴史的な名刹である東寺があるといった立地で、「西大路から京都に入った時の、ひとつのビュー・トップ・ポイントになる建物として、それまでの交差点の雰囲気を、より付加価値の高い都市的空間にしたい」という初期的な意図で、設計をすすめました」（建築計画研究所 代表取締役 根津耕一郎氏）

具体的には、横断歩道橋上の視線からのプライバシーを守るために、1、2階

オフィス部分の道路側を壁面で構成したほか、3階から10階の住居部分には、できるだけ外観から生活臭を感じさせないためのライムストーンの格子面のバルコニーが設けられています。

これは、1、2階のオフィスのビジネス感覚が、建物全体に広がるような雰囲気が必要である、という考え方から全体のイメージが作られたものです。

「ところが、御影石の系統の外観を採用すると、非常に堅苦しい印象になりますので柔らかさをもつた、ボルトガルから輸入した『ライムストーン』という石を使って、シンボリックな外壁を作りました。

精度という点からいえば、日本製のタイルのほうが優れているのですが、どうしても感性という意味ではイタリア製のほうが優れていますし、また、それ以外の壁について建物全体の柔らかいトーンを出せたのも、ライムストーンと同調させたイタリア製タイルによるところも多いためです」と根津氏。

上品で親しみやすい外観のせいもあり、賃貸の共同住宅部分に関しては20坪から25坪と比較的大きめであるにもかかわらず、賃料も適正なレベルに設定されたこともあいまって、建物の完成時に



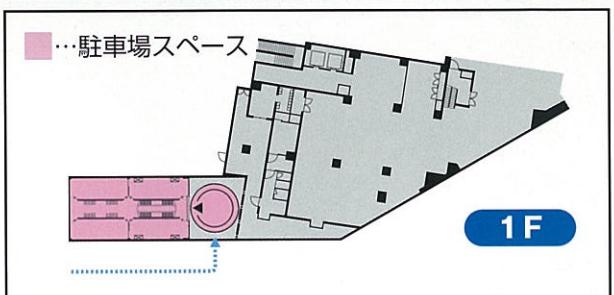
パインフィールド吉祥院は西大路九条交差点の西北側角に面して立地します。東向きと南向きの建物の壁面には、イタリア産ラライムストーンタイルが使用されました。

は、すでに100%の入居契約が完了していました。さらに、建物が面する交差点のイメージも大きくアップされ、優雅さが特徴的な外観を実現し、夜間はライトアップされることで、街の中でのランドマーク性を持たせるという当初の目的も、十分に実現されたといえるでしょう。

建築概要・建築規模

建築主	松田 一男
構造規模	地下1階、地上10階、塔屋1階
建築面積	884.61m ²
延床面積	5410.23m ²
設計・監理	株式会社 建築計画研究所
施工	株式会社 浅沼組

駐車設備概要
駐車設備：ニッセイ・E.Lパーキング（縦列型）
機種：エレベータ方式（フォーク式）
型式：DEL・USGT-58MIX
収容台数：58台



外壁の美しさが長期間
保たれるジョイナー工法



E.Lパーキングはターンテーブルを内蔵していますので、前進入庫・前進出庫が可能です。また、同物件は入出庫口が道路と平行ですので、外側にターンテーブルを追加することで入出庫をスムーズにしています。

にわたって外観のクオリティを保つために「ジョイナー工法」が採用されました。これは外壁の接合にボルトを使用しない工法で、ボルトの錆の発生がなく、外壁の美しさを保つことができます。

「立体駐車場のタワーは、都市空間に大きなボリュームで出てくることになります。そこで、できるだけフラットな周囲にとけ込みやすい外観を長期間にわたり確保したかったのです」（根津氏）

エレベータ方式〈フォーク式〉 ELパーキング・縦列型

省スペースと大量格納を可能にしたE.Lパーキング。フォーク式を採用することでパレットレス化を実現し、よりスピーディーな入出庫が可能となりました。また、耐震性といった安全性や騒音、振動にも配慮した設計で、従来機種との部品共通化をはかることで低コスト化をも実現しました。普通乗用車とハイルーフ車の混載収容が可能な「ミックス型」もラインアップに加わり、使用可能な敷地面積と収容台数から、単独型と連塔型、それに、今回、施工例をご紹介いたしました縦列型の選択が可能です。



E.Lパーキング縦列型の入出庫口には、ターンテーブルが内蔵され、前進入庫・前進出庫が可能です。

